ポケット型ガス警報器取扱説明書

保証書付

型式: XA-370/ XA-370(b)

- ●このたびはポケット型ガス警報器をお買上げいただき、誠にありがとう ございます。
- ●ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ●この説明書には保証書が付いています。大切に保管してください。

1. 正しくお使いいただくために

■本器を安全に使用していただくために次のようなシンボルマーク を使用しています。

回避しないと、死亡または重傷を招く切迫した危険な状況の発生が予

見される内容を示しています。

回避しないと、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況が生じ

ることが予見される内容を示しています。

回避しないと、軽傷を負うかまたは物的障害が発生する危険な状況が 生じることが予見される内容を示しています。

■安全にご使用いただくために、下記の事項を必ずお守りください。

た険:本器が警報を発したら、必要な処置を行ってください。

使用前に保守点検を行ってください。 電池の充電、電池の交換、保守点検は非危険場所で行ってください。 防爆性保持のため、必ずレザーケースに入れてご使用ください。

★ 注意:落下や衝撃等の機械的ショックは避けてください。

分解改造等は行わないでください。

高温多湿の場所で、保管や長期放置をしないでください。 保管するときは電源スイッチを必ずOFFにしてください。

長期間使用しない場合は、電池を取り出した状態で保管してください。 急激な温湿度変化は機器の性能を損なうことがあります。

■防爆関連事項について

下記の防爆関連事項について、確認のうえご使用ください。

防爆性能保持のため、必ず次の電池のいずれかを使用し、使用条件を遵守してください。

格: 2.4V 0.29A

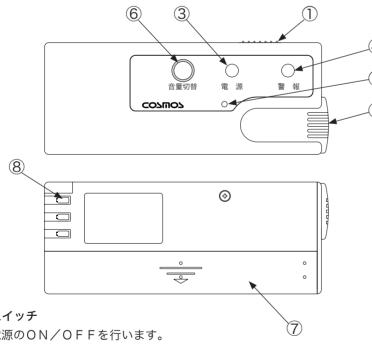
XA-370:ニッケル水素組充電池(2HR-4U-SCD-1×1、2HR-4U-SCD-2×1) XA-370(b):ニッケル水素充電池(HR-4UB×2、HR-4UG×2)

3.0 V 0.29 A

XA-370/XA-370(b):マンガン乾電池(R03×2)、アルカリ乾電池(LR03×2)

使用条件:電池交換及び充電は非危険場所で行なうこと。 レザーケースに入れて使用すること。

2. 各部のはたらき



①電源スイッチ

・電源のON/OFFを行います。

②ガス検知口

・ガスを検知するセンサ部です。

③電源ランプ

・電源スイッチONで点灯(測定準備中)後、点滅(通常時)します。

④警報ランプ

・ガス濃度が警報濃度以上になった場合、点滅します。

⑤ブザー孔

・ガス濃度が警報濃度以上になった場合、ブザーが鳴動します。

⑥音量切替スイッチ

・ブザーの音量を大/小に切り替えることができます。

電源投入したときの音量は必ず「大」となっています。

7電池収納部

・電池を収納する部分です。型式により標準付属電池が異なります。

ニッケル水素組電池(専用充電池)……]本 XA - 370XA - 370 (b)単四形ニッケル水素充電池………2本

8 充電端子

XA - 370専用充電器(BC-7)により本器を充電する際に使用します。

XA-370(b) この端子を使用しての充電はできません。

ポケット型ガス警報器

型式: XA-370 / XA-370 (b)

このたびは弊社製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。取扱説明書等に 従った正常な使用状態で保証期間中に万一異常を生じた場合には、下記の記載内容によ り保証させていただきます。なお、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限す るものではありません。

●保証期間

お買上げ日より1ヶ年

●保証範囲

仕様書・取扱説明書・注意ラベルに従った正常な使用状態で、製造上の責任による故障ま たは損傷の場合、無償にて修理をさせていただきます。但し、無償修理は弊社製品また は部品の取替えの範囲に限り、警報器本体以外に生じた損害は本保証書に定められた保 証の対象ではありません。

●保証の適用除外

- 1) 製品の誤用や取扱い不備、使用者の故意・不注意による故障または損傷。
- 2) 火災、地震、風水害、雷、異常気象、異常高電圧、異常電磁波及びその他の天候、 地変による故障または損傷。

- 3) その他弊社の責任によらない故障または損傷。
- 4) お客様自身による修理や改造に起因する故障または損傷。
- 5) 消耗品、および消耗品を交換されなかったことによる故障または損傷。
- 6) 本書は日本国内のみ有効。

お買上げ日				
	年		月	日
ご愛用者名				
ご住所				
〒□□□-□□□	電話番号	()	_

新コスモス電機株式会社

3. ご使用方法

① 本器の充電

専用充電器により本器を充電してください。型式により充電方法が異なります。

型 式	専用充電器	充電方法
X A − 370 ^{** 1}	BC-7(弊社製)	本体差込充電
$XA - 370 (b)^{*2}$	電池メーカー指定充電器	電池充電

充電するときは、必ず電源スイッチを OFF にしてから充電してください。 ※2 電池蓋から電池を取り出し、充電してください。BC-7 による充電はできません。 (詳細は専用充電器の取扱説明書をご覧ください。)

警告 充電は非危険場所で行ってください。

警告 電池交換は非危険場所で行ってください。

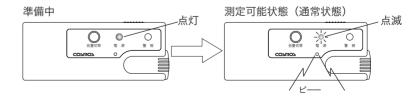
電源スイッチ及びバッテリーチェック

清浄空気中にて電源スイッチをONにしてください。電源ランプが点灯し、準備中であ ることを示します。準備が完了しましたら「ピ――」というブザー音とともに、電源ラン プが点滅に変わり、測定可能な状態となります。

電源をONにしても電源ランプが点灯しないときや、電池切れ表示4.③参照のときは 電池の充電時期ですので、速やかに充電してください。

緊急用として市販の単四形乾電池も使用できます。

<u>/!</u>注 **荒** 電源投入は清浄空気中で行ってください。



③ センサチェック

本器を使用する前には、必ず6.保守点検を参照し、センサ感度の点検を行ってください。

4 作業時

必ずレザーケースに収納してご使用ください。またレザーケースは簡易防滴構造になっ ておりますが出来る限り水がかかる場所や高温高湿、あるいは低温になる場所での使用は 避けてください。

⑤ 終了時

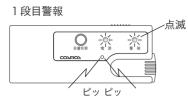
作業が終了しましたら、必ず電源スイッチをOFFにしてください。

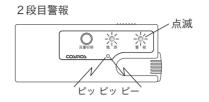
4. 警報動作および表示

① 警報動作

- ・警報濃度以上のガスを検知すると警報を発します。
- ・本器は2段警報型で警報濃度及び警報表示は次のとおりです。ガス濃度が警報濃度以下 になると、警報は自動的に解除されます。

	警報濃度	LELの1/10
1段目警報	警報表示	警 報 音:「ピッ、ピッ」の2連続音 5秒間隔で繰り返し 警報ランプ:ブザー音と同周期で点滅
	警報濃度	LELの1/4
2段目警報	警報表示	警 報 音:「ピッ、ピッ、ピー」の3連続音 2.5 秒間隔で繰り返し 警報ランプ:ブザー音と同周期で点滅

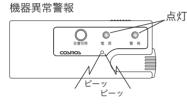




機器異常表示

・本器は機器又はセンサ異常を検出すると警報を発します。

機器異常警報	警 報 音:] 秒間隔で鳴動	
	電源ランプ:点灯	
	警報ランプ:点灯	



※機器異常とお考えになる前に以下の原因で、この表示が出る場合がありますので修 理を依頼される前に下表に従ってもう一度ご確認ください。

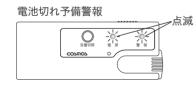
	200
考えられる原因。	次の処置を行ってください。
空気の汚れた場所で電源投入を行っ た場合。	清浄空気中で再度電源投入を行って ください。
ガス雰囲気中で電源投入を行った場合。	清浄空気中で再度電源投入を行ってください。
急激な温湿度変化があった場合。	その場の雰囲気中で再度電源投入を 行ってください。
機器周辺に強い電波があった場合。	再度電源投入を行ってください。

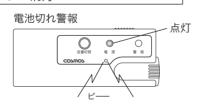
数回電源投入し直しても同様の警報が表示される場合は修理をお申し付けください。

③ 電池切れ表示

・本器は電池残量が少なくなると警報を発します。電池電圧が低下すると正常な動作をす ることができませんので、専用充電器にて充電を行ってください。

		警 報 音:なし
	電池切れ予備警報 (使用可能状態)	
		電源ランプ:点滅
		警報ランプ:電源ランプと同周期で点滅
	電池切れ警報	警 報 音:連続鳴動
		電源ランプ:点灯
	(使用不可能状態)	警報ランプ:消灯

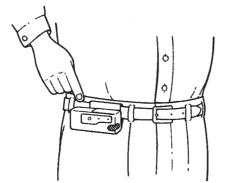




- ・電池切れ警報を発した機器は充電電池保護のため、速やかに電源を切ってください。
- ・充電池は繰り返し使用するうちに劣化し、使用できる時間が短くなってきます。 満充電しても使用できる時間が極端に短くなったときは、充電池の寿命ですので、交換 してください。

5. 取扱い上の注意

- ●本器の性能を維持するために、点検はきわめて重要な作業です。
- ●本器に使用できる電池は「7. 仕様」のとおりです。それ以外の電池を使用しないでく ださい。
- ●充電端子が水等で濡れた場合は布でふきとって充電してください。
- ●衝撃等を与えないようにしてください。
- ●高温・低温・多湿の場所に長く放置しないでください。
- ●レザーケースはベルト通し部分をベルト に通してご使用ください。
- ●上着などで警報器がおおわれないよう、 ご注意ください。



6. 保守点検

●次の方法で点検することができます。

- ①機器の電源をONにし、測定可能な状態になる ことを確認してください。(レザーケースを外し た状態で点検を行います。)
- ②市販のライターを点火し、炎の高さを5cm程 度に調整してください。(炎が小さいと点検ガス を採取しにくくなります。)
- て、採取管の先端を炎の内炎部(青い炎部分)に 持っていきます。
- ④容器の圧縮をゆっくりと(約3秒程度)緩め、炎の 中からガス成分を吸引します。(長時間加熱すると 点検ガス採取器が破損する場合があります)
- ⑤採取管の先端部分の温度が下がるまで、約25秒 待ちます。(採取管の先端部分は熱くなっていま すので、やけどに注意してください)
- ⑥採取管の先端を警報器のセンサ口に持ってい き、センサロから5~10mm離したところで容 器を圧縮し、採取したガスをゆっくり(約3秒程 度)注入します。
- ⑦ガスを注入すると警報動作することを確認して ください。
- ⑧ガスが無くなると警報音が鳴りやみます。
- ●ガスを注入しても、警報音が鳴らないときは、1 分以上待った後、もう一度上記の作業を行って ください。
- ●数回上記の作業を行っても警報動作しない場合 は修理をお申しつけください。
- ●採取したガスは作動点検以外には使用しないでください。



・ライターガスを直接センサロに吹きかけないでください。センサに悪影響 を及ぼす可能性があります。必ず、付属の点検ガス採取器で点検を行って ください。

点検ガス採取器

先端部分は熱くなるのでやけどに注意

青い炎部分から吸引

0

ゆっくりガスを注入

0 0

/外炎(赤い炎部分)

々内炎(青い炎部分)

5~10mm 程度離す

炎の高さを

000

採取したガスを体内に吸引しないようにご注意ください。吸引しますと、 <u>/</u>||注意 中毒症状を起こす場合があります。

・ 点検終了後、約5分間は正確なガス検知ができません。

・点検終了後(警報音鳴りやみ後)直ちに電源を切り再投入するとセンサエ ラーになる場合があります。 約5分間待って電源を投入してください。

7. 仕 様

型 式	XA-370/XA-370(b)
検知対象ガス	都市ガス 13A、メタン
検 知 原 理	熱線型半導体式
ガス採取方式	拡散式
警報濃度	1段目 LELの1/10 2段目 LELの1/4
応 答 時 間	30 秒(2 段目警報の 1.6 倍の濃度のガス)
使用温度範囲	- 10 ~ 40°C
電源	XA-370ニッケル水素組電池 1本 (標準付属品)型式2HR-4U-SCD-1または2HR-4U-SCD-2/定格2.4V三洋電機株式会社製またはFDK株式会社製充電器BC-7 (5台掛け充電器別売)にて本体差込充電XA-370(b)単四形ニッケル水素充電池 2本 (標準付属品)型式HR-4UBまたはHR-4UG/定格2.4V三洋電機株式会社製またはFDK株式会社製電池メーカー指定充電器にて電池充電緊急用電源単四形マンガン乾電池 型式RO3 2本/定格3.0V単四形アルカリ・マンガン電池 型式LRO3 2本/定格3.0V
使用可能時間	約 10 時間(ニッケル水素組電池またはニッケル水素充電池使用時) [満充電・常温・常湿の状態]
防爆構造	Ex ibdIIBT2 (センサ部:耐圧防爆構造 / その他:本質安全防爆構造)
外 形 寸 法	W 40 × H 99 × D 21mm(突起物を除く)
重量	約 95 g(レザーケースを除く)

8. 梱包内容物

